

事業活動等

四国のために、建設事業の遂行と公共用施設等の整備・管理保全を支援しています。

〔登録業種〕

建設コンサルタント（登録）建03第8715号

- 道路部門
- 施工計画、施工設備及び積算部門
- 河川・砂防及び海岸・海洋部門

補償コンサルタント（登録）補30第14号

- 土地調査部門
- 物件部門
- 機械工作物部門
- 営業補償・特殊補償部門
- 事業損失部門
- 土地評価部門
- 補償関連部門
- 総合補償部門

〔有資格者人数〕（令和4年5月1日現在）

- | | | |
|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| ●工学博士……………1名 | ●RCCM……………2名 | ●公共工事事品質確保技術者Ⅰ……………5名 |
| ●技術士（総合技術監理部門）……………2名 | ●一級土木施工管理技士……………46名 | ●公共工事事品質確保技術者Ⅱ……………7名 |
| ●技術士（建設部門）……………7名 | ●二級土木施工管理技士……………27名 | ●補償業務管理士……………13名 |
| ●技術士補……………6名 | ●測量士……………12名 | ●一級建築士……………1名 |
| ●土木学会認定上級土木技術者……………5名 | ●測量士補……………33名 | ●二級建築士……………11名 |
| ●土木学会認定一級土木技術者……………9名 | ●河川維持管理技術者……………7名 | |
| ●土木学会認定二級土木技術者……………2名 | ●河川点検士……………30名 | |

事業監理業務

◆吉野川水系緊急砂防事業監理業務 本所 技術部（通称：砂防PPPチーム） 北尾 和也

土砂災害からの1日でも早い復旧を目指して

豪雨災害により発生した土砂災害防止のための緊急的な砂防・地すべり対策業務を効率的に進めることを目標に、官民双方の技術・経験を活かしながら効率的な促進を図る事業監理業務に携わっています。日常業務では工事の進捗状況確認でドローンによる上空写真撮影を行い、目視では確認しにくい箇所まで確認します。

発注者である四国地方整備局の職員さんや、工

事を受注している工事業者の方ともコミュニケーションを取りながら、事業の早期完了を目指しています。

物事に対する考え方も、四国地方整備局からの視点と工事受注者からの視点ではそれぞれ違っており、両方の視点で仕事を進めることのできる、珍しい業務だと思います。

いろいろな立場の方と一緒に仕事ができる楽しみを見いだせる業務だと思います。



◆吉野川水系緊急砂防事業監理業務 本所 技術部（通称：砂防PPPチーム） 秋山 菜々子

自然の影響が大きい仕事ですが、地域のために働けることにやりがいを感じます

国土交通省四国山地砂防事務所では、平成30年7月豪雨及び令和元年台風10号により発生した土砂災害に対しての緊急的な砂防・地滑り対策事業を行っており、砂防PPP（PPP=Public-Private-Partnership）チームは、その緊急的な砂防・地滑り対策事業のお手伝いをする業務（=事業監理業務）を行っています。

その中で私は、毎月現場へ出向き、ドローン等を使用して災害箇所の進捗状況の確認を安全に行うとともに、事務所や出張所、受注業者の方との打ち合わせや地権者、地元の方の要望等を把握し、丁寧

かつ迅速な対応に心がけています。また、災害箇所の変状や自然の影響で土砂が崩れたり、工事が追加、変更したりする等、大変なこともあります。地域の安心・安全のために働けるとてもやりがいのある仕事です。

日々、上司や先輩方から学ぶこと、現場を実際に見ることで、資料を見るだけでは気づかない発見がたくさんあります。まだまだ勉強不足ですが、多くの知識を身につけ、地域の方が安心して過ごせる町にしていきたいです。



◆松山道路管理事業監理業務 松山支所 技術部（通称：松山PPPチーム） 下元 一光

道路整備の調査・設計段階から事業に関わる魅力的な業務です

愛媛県内の国が管理する国道の歩道や交差点改良、防災対策等の事業監理等を行い、円滑に事業を推し進めていく事が松山PPPチームの仕事です。道路整備の根幹となる調査・設計段階から事業に関われる事がこの仕事の魅力で、特に工事が完成し、そこを走る時は「あの時の協議は苦労したなあ」と感慨深いものを感じます。

また、様々な地区の歩道や防災対策等の事業に携わり、関係機関や設計コンサルタントと相談しながら設計を進めることで、幅広い知識や経験を得ることが出来ます。

難しい仕事ですが、経験豊富な先輩方がたくさんいますので、安心して業務に励んでいます。



◆**肱川激特事業監理業務** 大洲支所 技術部(通称:肱川激特PPPチーム) 長尾 晃宏

肱川の豪雨災害の復旧と再発防止に尽力

私は、平成30年7月豪雨の再度災害防止の為の「肱川激基災害対策特別緊急事業」の事業監理業務(PPP業務)に携わっています。5カ年の緊急事業であり、測量・調査・設計・工事・施設の引き渡しまでを効率良く進める必要があります。事業監理業務やPPPと聞いても、なじみがないかと思いますが、行政(Public)と民間企業(Private)が協力(Partnership)して公共事業を進めることを目的にしています。

具体的な仕事は、設計会社から提出された設計案を関係する地域住民や行政機関等と打合せを行い、詳細を決めたり、工事に入る前に支障物件が移転出来るように調整を行っています。複雑で困難な調整が完了し、現地で施設が出来上がって行く様を見ると、やりがいを感じます。

一日でも早く事業が完成し、安心して地域の皆さまが暮らせるよう、地域の皆様といっしょに頑張っています。



◆**桑野道路・福井道路事業監理支援業務** 徳島道路事業監理室(通称:桑野・福井PPPチーム) 関 風花

ドローン撮影で事業進捗を把握することがモチベーションUPに

桑野道路・福井道路PPPチームでは、四国8の字ネットワークの一部である桑野道路・福井道路の効率的かつ確実な進捗を図ることを目的に担当工区の早期着工を目指し、事業監理・設計調査、用地、施工班で協力し合って事業の円滑な推進を図っています。

四国8の字ネットワークは、広域な地域間交流と地域の「安心」と「活力」を支える重要な道路です。

私は施工班の担当者として従事し、タイムラプスの作成を目指してドローンで事業進捗の定点撮影を行っています。自分の手で撮影した画像を通して見る、現場が変化していく様子はとても面白く、モチベーションが上がります。

業務を遂行する上で困難なこともあります。気軽に質問・相談できる上司や先輩方がいるのでとても心強いです。



◆**四国横断道阿南徳島東事業監理支援業務** 徳島道路事業監理室(通称:阿南徳島東PPPチーム) 天羽 智大

地域発展、災害時に強い道路整備の一翼を担う

四国横断自動車道は徳島県阿南市を起点に愛媛県大洲市に至る延長約440kmの高規格道路であり、その一部の徳島県阿南市下大野町渡り上り～徳島市東沖洲間の事業監理に携わっています。徳島中心部の慢性的な渋滞の緩和、災害時における救急・救援・復旧に役立つ緊急輸送道路としての

活躍など、重要な役割を持つ道路です。

川幅の広い河川を跨ぐ長大橋、延長の長い山岳トンネルといった大規模構造物にかかわることができるのは魅力の一つだと思います。また、関係機関や地元の方々との協力しながら事業を進めていくため地域発展に貢献できることにやりがいを感じます。



◆**吉野川上流出張所管内管理施設等維持監理業務** 徳島支所 技術部(通称:吉野川上流PPPチーム) 酒井 圭祐

陸と空、双方の目から河川管理施設の効率的な点検を実施する

徳島の中心を流れる吉野川の上流(40k/8付近～77k/6+90m付近)を対象として、堤防や河川構造物を点検する業務に携わっています。

堤防等の点検は目視を基本としているため、徒歩で数日間かけて堤防や樋門などに変状がないか確認し、変状があれば現地で規模を測定しタブレットで写真や測定値を記録しています。また、人の目が届きづらい川辺や河川全体の様子については、ドク

ーンを飛ばして撮影し記録しています。

時には開口1mほどの樋門に入り込んで点検作業が必要になる等、体力が必要となる業務ですが、河川における管理計画等の基礎となる資料、ひいては地域の生活基盤を支える資料を作成していると考え、分かり易く正確な資料が整理できるよう日々の業務に務めています。



河川・道路施設管理関連業務

◆土器川河川管理施設監理検討業務 本所 技術部 宮崎 大成

河川が地域住民の皆さんにとって快適で安心・安全であるようにするために

一般に河川は、国土交通省が管理する一級河川、県が管理する二級河川、それ以外の準用河川に分類されます。四国クリエイト協会本所技術部では、香川県内唯一の一級河川である、土器川の堤防また河川構造物の水門・樋門・堰等を点検する業務に携わっています。

点検は目視を基本としているため、徒歩で堤防や河川構造物などに変状がないか、確認を行い、変状があれば、現地で変状規模の測定を行います。また、変状規模の拡大や進行が見られる箇所も継続的に点検を行い、点検後の写真や測定値をRiMaDISと

いう、河川管理専用のデータベースに記録しています。記録後、RiMaDIS内で変状箇所に対する評価や必要に応じて対策工法の検討を行い、河川の維持管理を行っています。実際に自分で点検を行い、変状箇所の原因を調べながら点検を行うと、理解が深まると同時に仕事のやりがいを感じます。

近年は気候変動の影響もあり、水害や土砂災害が頻発していることから、河川管理の役割は重要性を増してきているといえます。地域住民の皆さんにとって河川が常に快適で安心・安全であるように、日々の業務に務めています。



用地業務

◆香川用地調査点検等技術業務 本所 用地事業部 竹原 瑞葵

みんなが知識ゼロからのスタート

道路や堤防を新たに建設する際、工事に必要な土地(用地)を取得しなければなりません。その土地や土地の上にある物件(建物や立木等)を調査し、所有者が物件を移転するために必要な補償金を算定します。私は主にその補償金が適正かどうかを点検する仕事をしています。

基本的にデスクワークですが、現地での確認のた

めに現場に出る機会もあります。その時、前年に書類を点検した建物が解体され、道路になっているのを見て、社会に少しは貢献できたかなと感じます。

用地の仕事は土木関係のように大学等の専門学部がありませんので、全員が知識ゼロからのスタートです。私もまだまだ知らないことがたくさんあり、日々の実務と研修で知識と経験を身につけています。



その他の事業

- ◆労働者派遣に関する事業
- ◆建設事業に関する図書販売等
- ◆土木・建築・電気工事・管工事・造園・電気通信の検定試験及び講習会の業務協力
- ◆各種保険の代理補助業務
- ◆職業紹介に関する事業
- ◆抗ウイルス・抗菌・消臭事業
- ◆四国地区「道の駅」連絡会事務局